

# コロナ第7波から市民の命・健康を守れ!

## 市議団 19回目の申入れ

日本共産党北九州市議団は8月1日、北橋健治市長らに、「第7波」のコロナ感染急拡大から市民の命を守るための緊急対策を申し入れました。

7月中旬以降、1日当たりの感染確認が過去最多を記録する中で、通常医療にも支障をきたしているとして、22項目の緊急対策を求めました。コロナ対策の申入れは、これで19回目となります。

▲稲原副市長(左)に19回目となるコロナ対策について申入れを行う市議団



## 市民の声に耳を傾けて

### 申し入れ項目(要旨)

- ◆医療機関、高齢者施設、障がい者施設などで頻回のPCR検査を行い、その費用は全額国が負担すること
- ◆保健所の正規、常勤職員の人員増、施設・設備の拡充を図ること。市内での保健所の複数設置を含め抜本的な体制強化に取り組むこと
- ◆ワクチン接種の安心・安全・迅速な実施を抜本的に強化すること。健康被害への救済制度を改善すること
- ◆医療体制の拡充、医療・介護・福祉の現場への支援を強化し、確実に医療につながる体制をとること
- ◆市民への注意喚起、情報提供、相談体制を強化すること
- ◆空港防疫を抜本的に強化するなど、水際対策の徹底を政府に要請すること

### 自由法曹団、北九州市職労と懇談

北九州市議団は、7月21日に北九州市職員労働組合(市職労)と、同月25日に自由法曹団北九州ブロックの弁護士と懇談しました。

市職労は、市役所のデジタル化と職員の人員削減が相次ぎ、市民の声が届かない市役所が変わってきている実態を報告。その告発と市民に顔を向けた市政の実現について意見を交わしました。

自由法曹団との懇談では、区域区分問題など市政問題について意見交換。法的視点からの率直な問題も出され、継続的に懇談していくことを確認しました。



市政をめぐる、市職労組合員と懇談する市議団 = 7月21日

### 目過火災

### お見舞い申し上げます



4月火災を上回る45店舗が被災した目過市場火災の被害を確認する市議団 = 8月12日

目過市場で8月10日、火災が発生し、45店舗・3300平方メートルが焼失しました。4月の火災を上回り、「小倉昭和館」も全焼しました。

市議団は4月の火災の際、「ガレキ処理は公費で」と求めてきました。今回の火災でも、公費によるガレキ処理を行うこと、目過市場の再開発にあたって行政による支援を求めていきます。

北九州 市議会

# 9月議会

# 届けます市民の声と願い

### 9月議会日程

- ◆本会議(開会) 9月2日(金)
  - ◆議会運営委員会 6日(火)
  - ◆本会議(会派質疑、一般質問) 9日(金)、12日(月)~15日(木)
  - ◆決算特別委員会 15日(木)、16日(金) 20日(火)~22日(木)、28日(水)
  - 市長質疑 26日(月)
  - ◆議会運営委員会 28日(水)
  - ◆本会議 29日(木)
  - ◆常任委員会 30日(金)、10月3日(月)
  - ◆本会議(閉会) 10月4日(火)
- ※請願・陳情の締め切りは9月21日(水)です。

スタート



伊藤淳一 議員  
(一般質問、30分)

- ◆コロナ感染防止対策について
- ◆コロナの後遺症対策について
- ◆職員の時間外労働について



出口成信 議員  
(一般質問、30分)

- ◆八幡市民会館のホールとしての活用について
- ◆目過火災問題について



山内涼成 議員  
(一般質問、30分)

- ◆高齢者世帯へのエアコン助成について
- ◆「読売 KoDoMo 新聞」の配布について



永井佑 議員  
(一般質問、30分)

- ◆盗撮対策について
- ◆折尾地区再開発について
- ◆食料支援について



大石正信 議員(会派質疑、60分)

- ◆市長の公約と旧統一協会について
- ◆職員の定年延長について
- ◆物価高騰対策について
- ◆子育て支援について



高橋都 議員  
(一般質問、30分)

- ◆門司港モデルプロジェクトについて
- ◆学校給食について



藤沢加代 議員  
(一般質問、30分)

- ◆農家への支援について
- ◆投票権の保障について

FOR ONE MILLION SMILES

# 100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2022.9.1

No. 571

発行 日本共産党北九州市議員団 北九州市小倉北区城内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

ホームページアドレス⇒ 日本共産党北九州市議団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>



